

L^AT_EX 2_ε の使い方

内藤 正美 著

長田 直樹 改

2014 年 10 月 7 日

1 授業用のフォルダ作成

コンピュータの中に、この授業用のフォルダを作り、それを使いましょう。

- 各自のホームフォルダ (UNIX ではホームディレクトリという) の下に `struct_doc` という名前のフォルダ (UNIX ではディレクトリ) を作りそれを使う。
ホームフォルダとは各自が自由に使えるフォルダのうち、一番外側のフォルダ
- `struct_doc` の中にさらに、課題毎 (練習課題やテスト課題) のフォルダ を作って、原稿をそこに保存する。(やり方については、後で書きます。)

とゆーわけで、まず、`struct_doc`(構造化文書の英語は structured document) というフォルダを作りましょう。やり方は：

1. Finder を立ち上げる
2. ホームフォルダを開く (サイドバーで、家のアイコン [これがホームフォルダ] をクリック)
3. メニューバーで [ファイル] → [新規のフォルダ]

これで「名称未設定フォルダ」ってのができるので、名前を `struct_doc` にして、return

ターミナルを使う別法：

1. ターミナルを起動する。
2. ディレクトリ `struct_doc` を作る。

```
$ mkdir struct_doc
```

2 東女での L^AT_EX 2_ε の使い方

いくつか方法がありますが、この授業では、TeXShop というソフトを使います。

2.1 最初に一度だけやること

- (1) TeXShop を Dock に入れる。やりかたは、Finder で、アプリケーションフォルダの中から TeXShop を探して、アイコンを Dock に drag & drop。
- (2) TeXShop の設定 (モニタ画面を見ながら、いっしょにやろうね ^^)
 - (a) TeXShop を起動して、終了する。
 - (b) Finder で、アプリケーションフォルダの中の TWCU フォルダを開く。
 - (c) TWCU フォルダの中に TeXShopFirstSetup.app というプログラムファイルがあるから、それを実行。(アイコンをダブルクリックすると実行する)
 - (d) ダイアログ

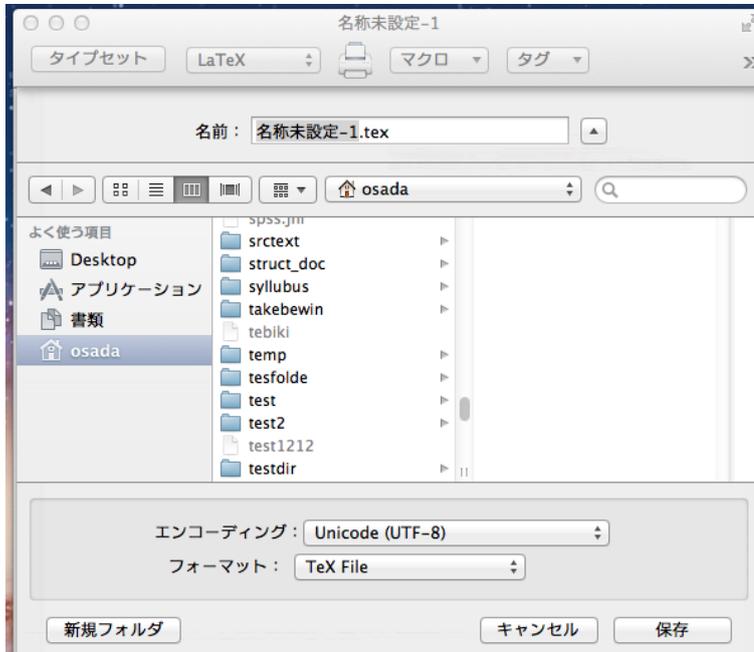


が表示されるので **OK** ボタンを押す。

2.2 毎回やること

2.2.1 新しい原稿を作るとき

- (1) TeXShop を立ち上げる。
- (2) TeXShop が立ち上がったら、まず、原稿ファイル (TeX ファイル) に名前をつけて保存してしましましょう。
メニューで、[ファイル]→[保存]。すると、図のようなダイアログが出るから、(フォルダが表示されないときは名前の欄の右にある三角をクリックする。)



- (a) `struct_doc` フォルダを探して、クリック。そして、`struct_doc` フォルダが開いたことを確認する。(上から2つ目の欄 [上図で `osada` となっているところ] が `struct_doc` になれば OK)
 - (b) 一番上の「名前」の欄に原稿ファイルの名前をいれる。
(ファイル名の後ろの `.tex` を消さないこと)
 - (c) 「エンコーディング」を Unicode(UTF-8) に、「フォーマット」を TeX File にする。
(そうになっていると思う)
 - (d) **保存** ボタンを押す。
- (3) 原稿を書く。
 - (4) メニューで [ファイル] → [保存]

♡ **印刷** Finder で印刷したい pdf ファイルをダブルクリック。すると Adobe Reader が起動してファイルが開くから、そこから印刷。

♡ **大学のコンピュータと自宅のコンピュータの間の、原稿ファイルのやり取りの方法**

- 東女 G メールに添付して送る
- USB メモリに入れて運ぶ